

2025年1月31日
株式会社京葉銀行

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社の運営するファンドへの出資について

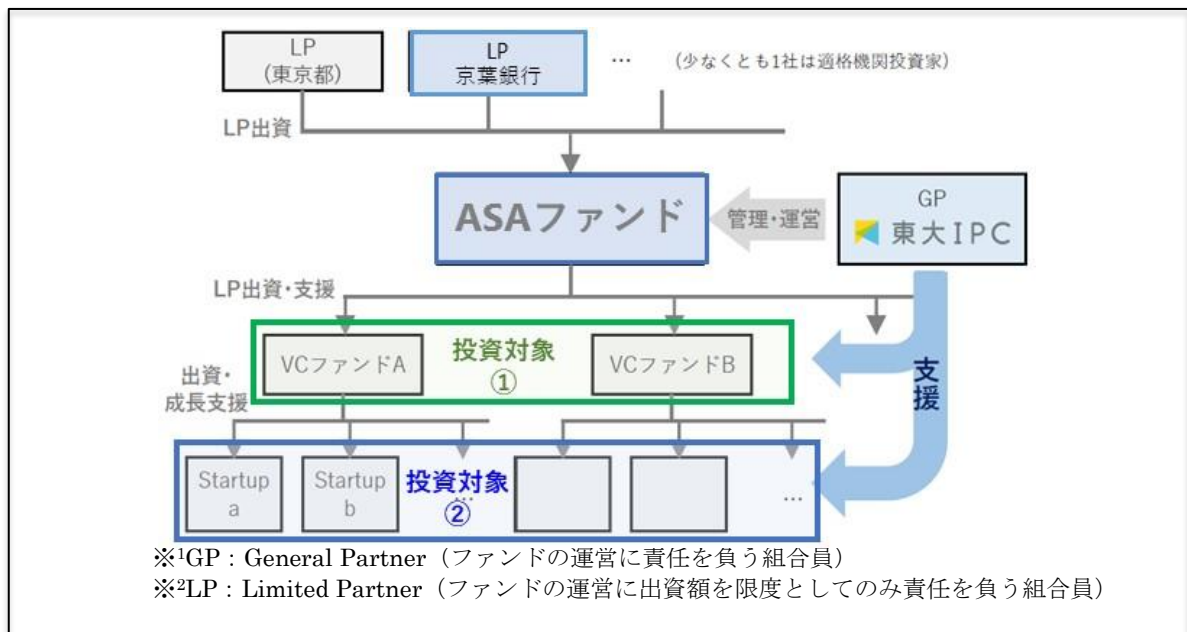
株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、東京都が創設し、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（代表取締役社長 植田 浩輔）が運営する「大学発スタートアップ等促進ファンド投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」）に参画しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、大学を中心に豊富に存在している技術やノウハウを掘り起こすと共に、事業化を支援するため、主として地方を中心とした大学発スタートアップに投資・支援する大学系新興ファンド等へ出資を行います。さらに、ファンド・オブ・ファンズの形態をとることにより、東京大学の持つ投資のノウハウが各大学系新興ファンド等に共有され、幅広い地域からの投資対象の発掘・育成が可能となります。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	大学発スタートアップ等促進ファンド投資事業有限責任組合 (ASA ファンド)
無限責任組合員	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（東大 IPC）
有限責任組合員	東京都、国立大学法人東京大学、当行他金融機関、事業会社等
当行出資額	非開示
運用期間	2024年2月29日から15年間
投資対象	① 主に大学系新興ファンド ② 各スタートアップ企業

【本件スキーム】



【ファンド出資を通じた社会課題の解決】

当行は2033年に目指す姿である「お客様満足度No.1のソーシャル・ソリューショングループ」実現に向け、社会課題の解決を起点とするビジネスモデルを強化しております。

今後もファンド出資を通じて、企業のライフステージに合ったソリューション提供を行うことにより、さらなる社会価値の創造、企業価値の向上を目指してまいります。

戦略的なファンド出資(注力分野)			
スタートアップ (ベンチャーファンド) <u>社会課題を解決する企業・事業の成長支援</u> ・ ESG関連ビジネス ・ インパクトスタートアップ企業	事業承継 (バリエーションファンド) <u>円滑な承継が必要な企業の支援</u> ・ 経営者の高齢化 ・ 後継者不足、不在	事業再生 (再生ファンド) <u>立て直しが必要な企業の支援</u> ・ 事業再構築 ・ 抜本的なリストラクチャリング	
<u>ファンド出資を通じた地域・社会課題の解決 (社会価値の創造)</u>			
2024年度出資実績 (総額 23 億円)			
スタートアップ (ベンチャーファンド)	3本 13億円	事業承継 (バリエーションファンド)	2本 10億円

以上